



2024年7月26日

苫小牧埠頭株式会社

株式会社ロードボスとの資本業務提携に関するお知らせ ～コールドチェーン基盤の強化により北海道産食品の移輸出促進を支援～

苫小牧埠頭株式会社（本社：北海道苫小牧市、代表取締役社長 海津 尚夫、以下「当社」。）は、輸送用冷凍冷蔵機メンテナンス道内大手の株式会社ロードボス（本社：北海道苫小牧市、代表取締役社長 文山 勸孝、以下「ロードボス社」。）との間で本年4月11日に締結した資本業務提携契約に基づき、同社が、本日、第三者割当増資により発行した株式を引き受けましたので、お知らせします。

1. 資本業務提携の理由および目的

近年、温度管理を要する冷凍食品・生鮮食品・医薬品等を対象としたコールドチェーン（低温物流網）の需要が増加しています。コールドチェーンは、①商品の品質保持と消費期間の延長、②遠隔地までの販路拡大、③食品ロス削減、等に資する一方、設備不足と導入時コスト、また最近では、いわゆる「物流2024年問題」による輸送供給力懸念への対処も課題となっています。

このような中、冷凍冷蔵庫等の保管・荷捌き事業を運営する当社と、冷却機能付きトレーラー・コンテナの保守・提供事業を行うロードボス社が、各々保有する施設・設備・ノウハウを融合的に運営することにより、海上輸送へのモーダルシフトも含めた優良・効率的なコールドチェーンサービスを安定提供し、それを通じて北海道の優れた農水産品や加工品等の移輸出促進を目指してまいります。

（コールドチェーンにおける当社の特徴）

当社は、2022年11月に策定した「TOMAF2025 2022～2025 年度中期経営計画」において、物流とその周辺領域での事業を通して地域や社会の課題を解決し、北海道の食と農業の発展に貢献するという方針を掲げています。かかる方針の下、苫小牧港東港において多温度対応冷凍冷蔵庫「北海道クールロジスティクスプレイス」を運営しているほか、地球温暖化の影響などから道内で栽培が本格化しているサツマイモを苫小牧で集約・選果する等、新たな領域での取組みにも着手しています。

また、当社は苫小牧を拠点とし、仙台、東京・横浜をはじめ全国及び海外との輸送ネットワークを有しています。

（コールドチェーンにおけるロードボス社の特徴）

ロードボス社は、北海道を地盤とし、トレーラーやリーファーコンテナに設置された冷凍冷蔵機の修理・メンテナンス事業のほか、冷凍機付トレーラーやリーファーコンテナの販売およびリース事業等を運営しており、現在では、自動車特定整備業の認定も取得の上車検整備も行っています。温度管理食品の遠距離輸送のためには、輸送用冷凍冷蔵機の適切かつタイムリーなメンテナンス体制及び専用車両の安定供給が必要とされており、豊富な技術力と顧客基盤を有するロードボス社は北海道におけるコールドチェーンにおいて重要な位置づけとなっています。

2. 資本業務提携の内容等

（1）資本提携の内容

当社は、本日、本第三者割当増資によりロードボス社の新規発行する普通株式201株（発行後株式保有比率33.4%）を引き受けました。

(2) 業務提携の内容

当社とロードボス社との間で合意している主な業務提携の内容は以下のとおりですが、詳細については、今後両社で検討の上決定することとし、北海道のコールドチェーン基盤の維持・強化に貢献していきたいと考えています。

- ① 当社のネットワークを活用したロードボス社サービス基盤の拡充
- ② 冷凍機付トレーラー・コンテナリース事業の拡大
- ③ ロードボス社による当社グループ保有車両の整備に関する協力

(3) 役員の派遣

当社は、ロードボス社との関係性をより強化すべく、当社が指名した取締役 1 名および監査役 1 名を社外役員として派遣いたしました。

3. 資本業務提携の相手先（ロードボス社）の概要

(1) 名称	株式会社ロードボス
(2) 所在地	北海道苫小牧市一本松町
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 文山勸孝
(4) 事業内容	・輸送用冷凍冷蔵機の修理、販売 ・冷凍機付トレーラーおよびリーファーコンテナの販売、リースおよびレンタル ・自動車整備
(5) 資本金	50.2 百万円（2024 年 7 月 26 日 第三者割当増資後）
(6) 設立年月	2007 年 10 月
(7) 株主および持ち株比率	文山勸孝 66.6% 苫小牧埠頭株式会社 33.4%

(参考)：ロードボス社輸送用冷凍冷蔵機修理工場



【本件に関するお問い合わせ先】 経営企画部 Tel 0144-33-6161

以上